

【2年生 地歴公民】臨時休業期間中の学習課題について（4/27～5/6）

《倫理》

□教科書『新倫理』（清水書院）（～P50）をよく読み、4ステージ（P15）の②キリスト教③イスラーム教を記入⇒採点⇒訂正しておくこと。最初の倫理の授業で提出。

《現社》

□教科書『最新現代社会 新訂版』（実教出版）p.46～61を精読する。理解できない箇所があれば、教科書に下線を引く。その上で、4ステージ演習ノート『2 青年期と自己の形成』StageA・②先人の生き方考え方（p.19～20）、StageB・25～34（p.24～28）に取り組む。回答記入⇒採点⇒訂正までしておくこと。新学期最初の授業で回収・点検します。

《地理A》

□「NHK高校講座 地理」を視聴し、番組内の学習メモや理解度チェック等を活用し、学習する。

- ① 番組は、パソコン、スマホでいつでも視聴可能です。
- ② Eテレでの放映予定日はそれぞれ下に記載しています。
- ③ 「NHK高校講座 地理」で検索し、番組HPから視聴してください。
- ④ 視聴前に教科書で予習をし、さらにHPにある「学習メモ」を活用すると一層理解が深まります。
- ⑤ 以下の2タイトルを視聴し、教科書等を参考に内容を学習すること。

第3回 世界の地形を見てみよう（1）～大陸はどうなっているか～

（教科書 P30・31） 【5/1（金）14:40～15:00 Eテレで放送予定】

第4回 世界の地形を見てみよう（2）～さまざまな地形～

（教科書 P32～P37） 【5/8（金）14:40～15:00 Eテレで放送予定】

※学校での授業開始後に、HP内の「学習メモ」「理解度チェック」より、小テストを行い評価します。（前回の課題範囲も同様です）

《日本史A》

〔4/27～5/6 その1〕第1章 近代日本の形成 2 明治新政府の諸改革

- ①教科書を読む

教科書 p.42～53 を読んでください。

②E テレ『高校講座日本史』を視聴する

第 28 回「第 4 章 近代国家の形成と国民文化の発展 明治維新」を視聴してください。URL は以下の通りです。

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/nihonshi/archive/chapter028.html>

③E テレ『高校講座日本史』の「理解度チェック」を活用する

「学習メモ」を読み（ここで再度、教科書該当ページを読むとより効果的）、理解度チェックに取り組んでください。

④「メモリーツリー」を作成する

教科書・資料集や『高校講座日本史』を参考に、各自用意したノート等にメモリーツリーを作成してください。

「メモリーツリー」については、次の URL（右の QR コード）を参考にするとわかりやすいです。また、検索サイトで「メモリーツリー」を検索すると、参考になるサイトがたくさんでできます。



「メモリーツリー」 <http://www.daiichi-g.co.jp/chireki/sekaishi/memory.html>

〔4/27～5/6 その2〕第 1 章 近代日本の形成 3 立憲国家の成立（1）

①教科書を読む

教科書 p.56～59 を読んでください。

②E テレ『高校講座日本史』を視聴する

第 29 回「第 4 章 近代国家の形成と国民文化の発展 憲法制定」を視聴してください。URL は以下の通りです。

<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/tv/nihonshi/archive/chapter029.html>

③E テレ『高校講座日本史』の「理解度チェック」を活用する

「学習メモ」を読み（ここで再度、教科書該当ページを読むとより効果的）、理解度チェックに取り組んでください。

④「メモリーツリー」を作成する

教科書・資料集や『高校講座日本史』を参考に、各自用意したノート等にメモリーツリーを作成してください。

「メモリーツリー」 <http://www.daiichi-g.co.jp/chireki/sekaishi/memory.html>

◎前回のメモリーツリー作成、それなりに苦労しただろうと想像していますし、しばらくはその苦労が続くのだろうと考えています。ただメモリーツリーは、シンキングツールのひとつとして優れた手法のひとつであるのは間違いなく、将来的に十分応用可能な手法になります。今は「産みの苦しみ」と考え、ぜひチャレンジを続けてください。

※授業開始時または出校日等に「メモリーツリーノート」を回収し、確認・評価する予定で検討中です。

《日本史B》

2年日本史B 4/27～課題

①5月1日（金）14：00～E テレ高校講座の第3回「大和王権と古墳文化」を視聴し（日時が都合が悪い場合は、web で視聴できます）、web 上の学習メモと理解度チェックを使って学習する。さらに教科書のP23～33を学習する。

☞学校再開後、授業で確認テストを行う。

《世界史B》

〔4/27～5/6 その1〕

①『新世界史要点ノート』を活用して学習する

教科書・資料集を参考に、p.162～p.163に取り組んでください。

②「メモリーツリー」を作成する

教科書・資料集や①で取り組んだ『新世界史要点ノート』を参考に、各自用意したノート等にメモリーツリーを作成してください。

「メモリーツリー」については、次のURL（右のQRコード）を参考にするとわかりやすいです。また、検索サイトで「メモリーツリー」を検索すると、参考になるサイトがたくさんでできます。



「メモリーツリー」 <http://www.daiichi-g.co.jp/chireki/sekaishi/memory.html>

〔4/27～5/6 その2〕

①『新世界史要点ノート』を活用して学習する

教科書・資料集を参考に、p.164～p.167に取り組んでください。

②「メモリーツリー」を作成する

教科書・資料集や①で取り組んだ『新世界史要点ノート』を参考に、メモリーツリーを作成してください。

③概要版「メモリーツリー」を作成する

まず、前回も含めたこれまでの「メモリーツリー」を参考に、教科書 p.263 中単位「2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生」として、それらのメモリーツリーをリンクさせた概

要版「メモリーツリー」を完成させましょう。さらにもう一枚、教科書 p.272 中単元「3 南北アメリカの発展」として概要版「メモリーツリー」を作成し、「ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生」と関連づけてみましょう。なお、概要版は、当時のヨーロッパ・アメリカの関係性が見えればいいので、ものすごくザックリしたものでかまいません。

◎前回のメモリーツリー作成、それなりに苦勞したろうと想像していますし、しばらくはその苦勞が続くのだろうと考えています。ただメモリーツリーは、シンキングツールのひとつとして優れた手法のひとつであるのは間違いなく、将来的に十分応用可能な手法になります。今は「産みの苦しみ」と考え、ぜひチャレンジを続けてください。

※授業開始時または出校日等に『新世界史要点ノート』と「メモリーツリーノート」を回収し、確認・評価する予定で検討中です。

《地理B》

地理Bは、地誌から入ります。『新詳地理B』P227～で、東アジア（P232～P246）の範囲を一読し、地図帳（p7～P18）、『最新地理図表 GEO』（p154～P159）を参考に『新地理の研究』P94～P97を仕上げてみること。

なお、解答がついていますが、力をつけるためには、自分で調べてやってみる習慣をつけること。